

平成26年度第3回 墨田区障害者施策推進協議会 議事要旨

日 時 平成27年1月28日(水) 午前10時~11時15分
場 所 122会議室(庁舎12階)

1 開 会

2 議 題

(1) 「第4期墨田区障害者行動計画(後期)・墨田区障害福祉計画【第4期】」の策定に係る最終報告について

(2) 両計画の実施について

3 閉 会

(資 料)

- ・第4期墨田区障害者行動計画(後期)・墨田区障害福祉計画【第4期】(案)における素案からの変更点等について
- ・別紙 第4期墨田区障害者行動計画(後期)・墨田区障害福祉計画【第4期】について(素案からの主な変更点)
- ・第4期墨田区障害者行動計画(後期)・墨田区障害福祉計画【第4期】(案)(概要版)
- ・第4期墨田区障害者行動計画(後期)・墨田区障害福祉計画【第4期】(案)

墨田区障害者施策推進協議会委員

氏名	所属	出欠
平 墳 隆 一	墨田区障害者団体連合会	出席
浅 岡 ミサ子	〃	欠席
荘 司 康 男	〃	出席
前 田 君 代	〃	出席
小 宮 隆 仁	〃	出席
三 浦 八重子	〃	出席
小久保 登美子	墨田区知的障害者相談員	出席
中 武 繁 明	墨田区身体障害者相談員	出席
小 林 敬 子	墨田区民生委員・児童委員協議会	出席
田 中 三 伊	墨田区社会福祉協議会	出席
森 川 政 男	(株)ハクワクリーニング商会代表取締役	欠席
林 恒 雄	墨田区議会議員	出席
佐 藤 篤	〃	出席
と も 宣 子	〃	出席
は ら つとむ	〃	出席
井 上 ノエミ	〃	出席
あ べ きみこ	〃	出席
磯 部 淳 子	東京都立墨田特別支援学校長	出席
小 川 崇	特別支援学級設置中学校代表(本所中学校長)	出席
持 田 和 彦	墨田公共職業安定所 職業相談部長	欠席
中 橋 猛	墨田区保健所所長	出席

事務局出席者

大滝福祉保健部長

小板橋障害者福祉課長

池田厚生課長

岸川保健計画課長

1 開 会

事務局 ~挨拶~ 省略

福祉保健部長 ~挨拶~ 省略

2 議題

(田中会長) ~挨拶~ 省略

(1)「第4期墨田区障害者行動計画(後期)・墨田区障害福祉計画【第4期】」の策定に係る最終報告について

(小板橋課長) 計画の説明 省略

(A委員) 行動計画の「地域社会における障害者救護体制の充実」について、災害時、民生委員はどのように対応するのか。また、施設入所支援について、入所希望者が多いようであるが、どのように計画しているのか。グループホームの設置についてはどのように計画しているか。

(小板橋課長) 民生委員の方については、防災課で作成している要援護者名簿を地域包括支援センターに準備して、その名簿により安否確認をすることになっている。また、入所施設について、国の指針では削減目標を定めているが、現在入所待機者が数名いる状況であり、実態を踏まえて現在と同人数の必要量を見込んでいる。本区では、入所施設ではなく、グループホームで生活できるようグループホームの整備を計画している。具体的な事項はこれから検討していくが、行動計画では、「障害者グループホームの整備・支援体制強化支援」に定めており、計画期間内の整備の支援をしていく。

(B委員) 入所施設支援の必要量の見込について、東京都の考え方、国の考え方について伺いたい。国の考え方と区の数値に差があるのは、大都市特有の事情があるためか。平成29年度以降も同じような状況だと思われるが、どのように考えているか。

(小板橋課長) 東京都は現状を踏まえた必要量を見込んでいる。入所施設から地元のグループホーム等の地域に移行するよう国の方針があるので、地域移行が進めば施設入所支援の人数も抑えられると考えられる。一方で、現状を見ると地域で受け入れることは難しい状況もあると考えられる。

(C委員) 短期入所の施設について、事業者が施設をつくる際、消防法の改正による設備の基準が厳しくなり負担増となる。区では設備の整備支援などを考えているか。

(小板橋課長) 補助制度もあるので活用してほしい。ただ、既存の施設は、消防法に対応するための負担は様々である。施設の存続が難しいところもあるかもしれないが、短期入所は必要な事業であるため、事業者の方々と協議をしながら検討していきたい。

(D委員) グループホームの整備が行動計画に掲載され、計画期間内に整備するということだが、具体的な時期はいつか、施設の規模はどの程度か。

また、足立区で精神障害者の方を対象にした給付金を出すということだが、区ではどう考えているか。

(小板橋課長) グループホームの整備の支援について、具体的な時期や規模などは今後検討していくが、あわせて短期入所などの他の事業もできればと考えている。

(岸川課長) 精神障害者の方に対する給付金ということだが、本区では現金給付というより、就労などを地域で支援していきたいと考えている。

(2) 両計画の実施について

- (小坂橋課長) 大きな論点である、グループホームの整備の支援、重度肢体不自由児(者)生活介護事業所の整備の支援をはじめとする各計画の事業について、事業推進のためのご意見を伺いたい。
- (E 委員) 前回の会議で要望した災害時の障害者に対する避難所のサポートの件について、どのように考えているか?例えば、聴覚障害など、目に見えない障害を持っている方に対する給付等の支援を考えてほしい。
- (小坂橋課長) 防災の計画について、災害時の自助、共助の重要性を踏まえ、事業実施を検討している。
- (大滝部長) 障害当事者の方々でなければ気づけないことも多くあるので、障害者団体等から具体的な助言をいただきたい。先日、災害対応訓練を実施したが、実際に行うことで気づくことが多くあった。みなさまからも、日常的に様々なご意見をいただければと考えている。
- (A 委員) グループホームについて、現在、区外49か所を利用しているが、将来、区内に戻ってきたいと希望する方が多く出てくるのではないかと?区内のグループホームを希望していたが入れなかったという情報は管理しているのか。区内のグループホームに空きが出たら、その希望者を受入れられるような仕組みづくりをしてほしい。
- (小坂橋課長) グループホームの利用者の状況に応じて対応していきたい。特に重度障害の方については、グループホームの整備の支援をしていきたい。重度障害ではない場合でも、東京都の補助等により、民間事業者の整備を働きかけていきたい。
- 区内のグループホーム希望者が区外のグループホームに入っている、という情報は一括して管理しておらず、個別に対応している状況である。
- (B 委員) 行動計画の「区立特別支援学級の整備」について、前回の話の東京都の特別支援教室等を踏まえ、情報共有をお願いできればと思う。普通学級での障害児に対する支援が十分ではないという話を聞くが、特別支援教室によりどのように改善されていくか伺いたい。
- (F 委員) 特別支援教室について、平成27年度から小学校をモデルとして実施していく予定。各学校についても、参考にしながら準備をしていく。
- 特別支援学級の有無にかかわらず、障害に関する委員会があり、専門家から意見を伺っている。特別支援のチームで支援している。専門家が巡回してこない日は、どう対応するか今後の検討課題である。
- (G 委員) 特別支援学校では、小中学校から要請があれば、コーディネーターを派遣し、現場に必要な方策について共に考えている。また、教員の研修も要請があれば実施している。
- 学校を巡回して支援をしているが、それを担える人材の育成が大変である。また、墨田区は近隣4区のセンター校になっており、負担が大きくなっている。
- (D 委員) 障害者虐待防止センターについて、周知はどのようにされているか伺いたい。相談内容については、虐待かどうかははっきりしない場合でもよいか。また、実績はあるか。
- (小坂橋課長) 区のおしらせ、ホームページ、チラシを作成して関係施設に送付している。相談窓口は、24時間対応している。相談は、本人以外からの関係者の方々からも受け付けている。事例に応じて、場合によって解決策を検討して、対応する。実績として、親子間での問題について実際に対応をした事例がある。

- (H 委員) 視覚障害者の方で、東京都の事業の対面朗読サービスを利用しており、利用の要望がある。墨田区では、図書館での対面朗読サービスを実施しているが、訪問で対応する予定はあるか。
- (小坂橋課長) 今のところ、事業実施の予定はされていないが、実施するとなればボランティアの方々による対応になると思われる。
- (H 委員) グループホームの整備の際、様々な障害に対応できるような複合的な施設にすることはできないか。
- (小坂橋課長) 知的障害、身体障害等また医療的なケアが必要な場合等、様々な場合が考えられ、個別にするか、建物の内部で分けて対応するかなど、今後検討していきたい。
- (I 委員) 実際の参考事例として、軽度の障害の方を対象としたグループホームで、ひとり重度の方を受入れたことにより、対応ができないということがあった。そのため、軽度と重度の方の施設は分けたほうがよいと思われる。
- (C 委員) 重度の方を対象としたグループホームの整備の支援の際、その規模はどのように考えているか。重度障害のお子さんをもつ親からの要望は多くある。
- (小坂橋課長) 既存の重度障害の方向けのグループホームでは、希望者が予想通りではなかったことなどもあり、グループホームの需要を見極めて、今後検討していきたい。
- (J 委員) 重度障害の方向けのグループホームで、募集の段階では希望していなかった方で、障害の程度が重いため応募を控えていたが、実際に施設をみて対応できるとわかった、という方もいる。そのため、しっかり周知などをすることが必要だと考えている。
- (小坂橋課長) 今後も、本協議会及び地域の事業者の方々等が出席される地域自立支援協議会で検討していきたい。
- (J 委員) 先日開催された、すみだスマイルフェスティバルについて、これまで実施していたふれあいフェスティバルと、障害者福祉大会に分けて実施することで、障害者の方々の余暇活動の充実を図ってほしい。
- (小坂橋課長) すみだスマイルフェスティバルについて、これから実行委員会による反省会も予定されており、今回第1回目の実施ということで、しばらくはこのまま実施していきたい。もし、良い提案などがあればいただき、よりよい企画にしていきたい。
- (田中会長) 意見、質問がなければ、これで本日の議事を終了させていただく。
- (小坂橋課長) どうもありがとうございました。それでは、閉会とさせていただきます。